

新年あけましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

世界のここかしこで民族紛争が続き悲惨な映像を見ますと、四海海に囲まれ単一民族国家を形成しているわが国は、恵まれすぎているといっても良いほど豊かで平和な国であり、本当に感謝しなければならないと思います。それだけに地球との諸問題を他人事とする姿勢は許されないしこれからは積極的な役割を果たしていかねばならない責任があります。さて今年の景気の見通しは如何でしょうか。複合不況といわれる今回の不況はそれまでの景気の山が大きかったぶん、深く長い谷といえ、今年もあまり期待は出来ないように思います。私達が景気回復を実感することはまだまだ先のことでしょう。もっと苦しみもっと知恵をだしもっと汗を流せと試練を与えられているのだと思います。

本年の銅相場については、確信をもっていえる事ではありませんが、あえて予測するなら下限320円～上限400円で昨年より少し高い水準になるのではないかと思います。今年も山内金属社員一同はどうすれば皆様のお役に立てるのか工夫し行動して参ります。どうか昨年同様のご指導とご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴社の益々のご繁栄と皆々様のご健祥をお祈り申し上げます。

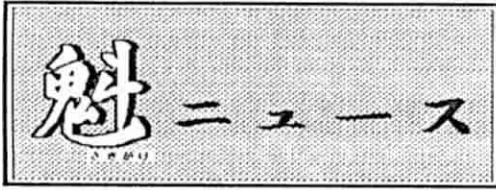
### ☆ 1月の魁基準建値は325円/kgです

昨年12月の電気銅建値は1～31日まで320円で終始しました。本年1月の電気銅建値は10円上がって330円で始まりしました。したがって1月の魁基準建値は $(320 + 330) \div 2 = 325$ 円となります。魁価格帯は300円超350円以下の欄で変わりありません。

### ☆ 段葺ルーフ・サキガケ12の

生産態勢が整いました。

段葺きルーフ・サキガケ12の生産態勢が整いましたので、銅の0.3 0.35 0.4の定尺2000mmは在庫を持ち即納態勢を取りました。お引合いやご用命をお待ちいたしております。また商品の説明には、当社社員にお気軽にお申しつけ下されば、気軽に出向きますのでよろしくお願ひ申し上げます。



月日のたつのは本当に早いものだと思うのは、年末と1月です。正月休みが明けて年始まわりで仕事が始まるが、一部にご挨拶ができただけで、今年は流感にかかってしまいました。なかなか底熱がとれず、けだるい感じが抜けずに2月を迎えてしまいました。ご挨拶に伺えず失礼を申し上げたお取引先の皆様には心よりお許しを願いたいと存じます。新年の挨拶では、何といたってもご皇室の慶事が明るい話題になりました。どんなことがあっても私があなたを全力でお守りしますという感動的な言葉で雅子さんの心をしっかりと抱えられたこと、2代続けて民間の優秀な血が皇室に入ること、100人の外交官に匹敵するといわれる皇室外交が、国際外交に益々大きな力を発揮されるだろう等、すべての点で申し分のない93年の冒頭を飾るにふさわしい明るいニュースでした。

一方景気のことについて皆様のご意見を伺いました。多方のご意見は秋から年末にかけて回復するという政府やエコノミストの景気予測と違って、来年前半までは駄目だろうという見方が多数でした。鉄鋼二次製品業界は他産業界と違って昨年も前半までは好調であった（九州では10月まで好調であった）こともあり、皆さんの表情にはゆとりがあり、不況が当分続いたとしても、それに耐え乗り切っていく体力と気力が充分あられるように頼もしく拝見しました。特にここ数年は世代交代の時機にかかっておられる所が多く、2世や3世の若い方々が、次代を担う経営者として着実に成長しておられる姿を拝見し、大変嬉しくまた心強い思いを深くしました。

これからの経営環境を考えると誠に厳しいものがあります。時間短縮、慢性的人材不足、投資コストの上昇等々、問題は山積していると言えましょう。しかし何事も熱き思いを貫き通せば必ずや克服できると信じ努力する人には、問題の解決ができないことはありません。若い方々は何といたっても時代の変化を読み取る洞察力や情報処理能力に優れ、体力があり集中力もあります。きっとそれらを克服し、明日の日本を担う経営者として活躍されることでしょう。業界発展のために若い人の活躍に期待を寄せるどころ大であります。

### ☆ 2月の魁基準建値は322円/kgです

1月の電気銅建値は4～6日330円、7～12日340円、13～30日320円で平均銅価は325円78銭でした。2月の電気銅建値は320円でスタートしましたので2月の魁基準建値は $(325.78 + 320) \div 2 = 322$ 円89銭円未満切り捨て322円となります。魁価格帯は前月同様300円超350円以下となり変わりありません。

2月 317.-



春は名のための風の寒さや・・・早春賦の一節が思い出される昨今です。

お雛様が飾られ、梅は満開となりこぶしの蕾も膨らんで、春の近ずきを覚えますが、まだ悪性の風邪も流行っており冬の季節とさよならはしばしおあずけのようです。

経済面は、連日厳しいニュースが伝えられます。工場閉鎖、自宅待機、採用取消、人員整理、倒産等々。まさに陰の極みにあり、こと経済面に関しては冬の季節はまだまだ続きそうです。日本経済は転換点を迎えた、新しい時代の変化に即応できる態勢をとるべくリストラクチャアをはからねばならぬと喧伝されており、長いトンネルを抜けるまで私達がしなければならぬことは、たくさんあります。しかし誰もが心掛け実行しなければならぬのは貸し倒れの防止です。100万円の貸し倒れの被害をうけるとそれをカバーするためには純利益が売上の2%とみて5000万円の売上をしなければなりません。今の時節に5000万円の売上増は仲々大変です。いま、攻撃と防禦のどちらが大切か。攻撃精神を失ってはいけません、今年には特にこの防禦の姿勢が大切ではないかと思えます。第一戦の営業の人だけでなく、経理事務の人、配達の人、すべての職務の人が、常と変わったことはないか敏感になって少しでも変わったことを見たり聞いたりしたら会社の上司に報告することを徹底し、被害を最小にとどめることが肝要です。

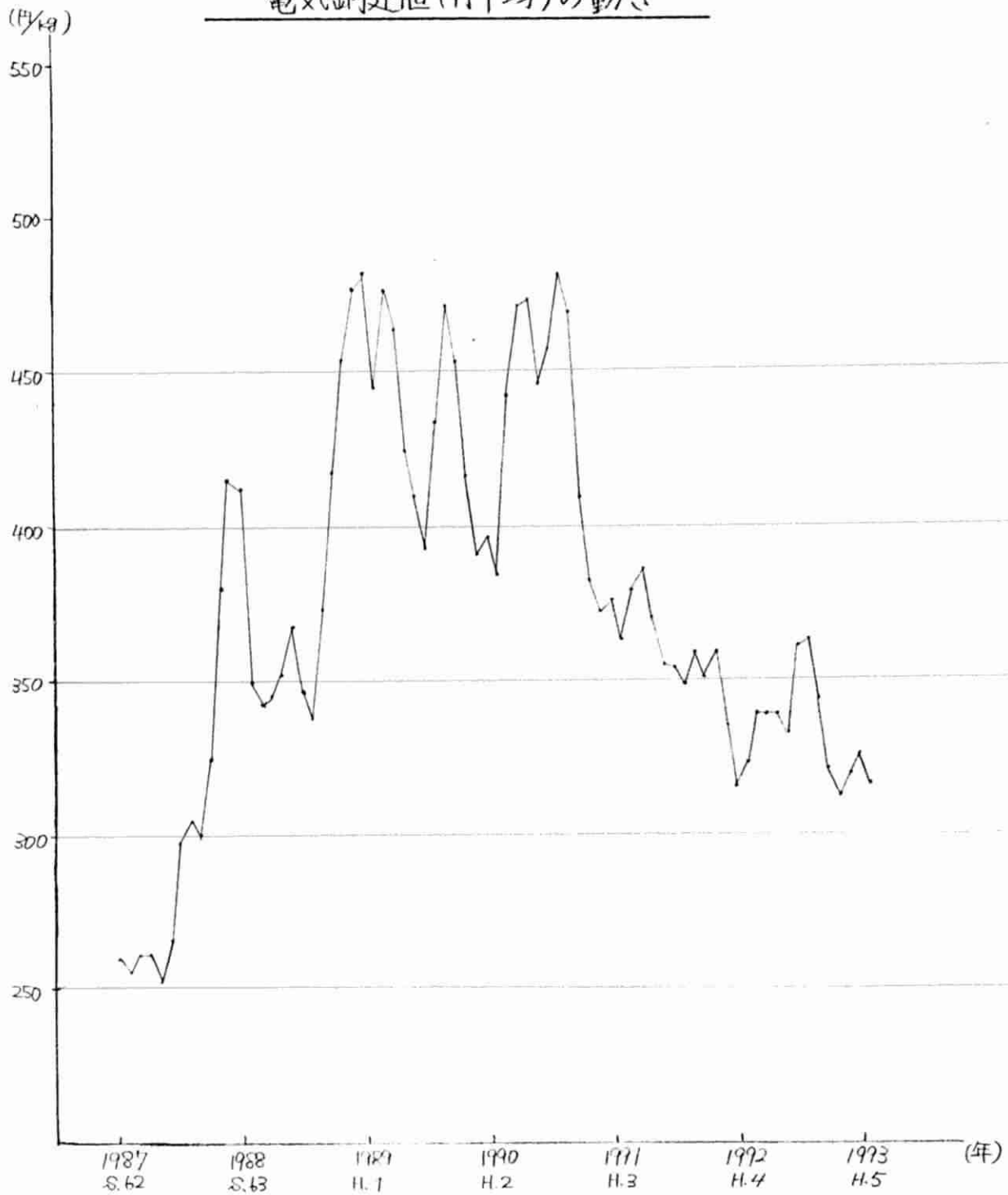
アメリカは建築や自動車、大型テレビ等の好調が報じられ、景気回復が本物であるかのように日本の非鉄金属市況は円高の影響も加わり、低調であります。電気銅建値が3月1日300円となりました。この価格は実に6年ぶりのことです。ご参考までにここ7年の動きをグラフにしましたのでご参照下さい。

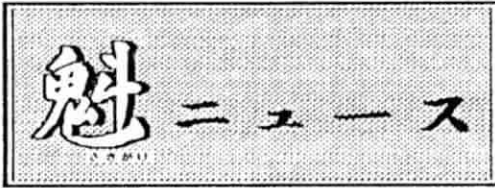
プロ野球のオープン戦も始まりました。下旬には春の高校選抜野球がはじまります。春の季節はたしかな足取りでやってきます。景気の春はまだ遠い先のことですが、しかしいずれ間違いなくまいります。その春を元気よく迎えらるよう共々頑張ってみましょう。

### ☆ 3月の魁基準建値は308円/kgです

2月の電気銅建値は1～21日は320円、22～28日310円、で平均銅価は317円36銭でした。3月の建値は300円でスタートしましたので、魁基準建値は $(317.36 + 300) \div 2 = 308$ 円68銭となり円未満切り捨て308円です。価格帯は300円超350円以下で変わりません。

### 電気銅建値(月平均)の動き





人間の脳は、大変高カロリーの栄養を必要とするらしい。それは良質のブドウ糖で大体1日120g位必要とする。このブドウ糖は肝臓で作られるが、およそ3食の飯で200g位しかできない。いかに脳が多くブドウ糖を消費するかが知らされる。これらのことから、朝食抜きではボーッとした頭が仲々まともに働いてくれないだろうし、朝食を抜くくせのある若者には是非このことを教えてあげて、必ず朝ごはんを食べるよう生活習慣を改善してもらいたいと思う。このブドウ糖を補給するには砂糖が一番よいようで体内に入ると2~3分でブドウ糖になるらしい。近年糖尿を怖れてコーヒーに砂糖を入れずに飲むことにしていたが、このことを知って朝食後のコーヒーだけは砂糖をたっぷり入れて飲もうと思っている。

古今東西、袖の下というものは絶えない。お世話になった人への感謝の表し方も甘い汁を吸いたい側と權益を有する側との取引になると大変な金額になってしまう。權益を有する側に立つ者が金銭欲に強いと始末が悪い。このたびの金丸さんは少々度がすぎたようである。少々のごときは常識としてあることだと想っているが、実際は少々のことではないらしい。最近の新聞報道などによると、景気刺激策として従来道路、港湾、ダムなどの公共投資だけでなく、研究、文教、厚生施設を対象に大型コンピューターや光ファイバー通信のテコ入れをするという新社会資本整備構想が浮上してきているが、これらにも官僚のシェア争いや族議員間の争いがあり、国のためより我が身のための論理が見えかくれている。それにしても親方日の丸のお役所は甘い汁が一杯でてくるところのようで、このへんで仕組みをかえてもらわないと我々国民は税金の負担が重くなるばかりで馬鹿らしくなってくる。独占とか独裁とかいうのは経済社会においても政治においても問題が多い。やはり経済は基本的に自由競争社会がベターで政治では一党独占は安定感をもたらすが、よどみが汚濁や腐敗をもたらす。切磋琢磨するライバルの存在が自らを律し成長する糧をもたらしてくれるのではなかろうか。日本の政治もまず国民が大人になってリストラを進めなければ先行きが心配である。

桜だよりも聞かれるようになると春本番である。昼の桜は満開よりちょっと前が好きだし、夜桜は満開をちょっとすぎて春の夜風に花びらの散る風情が好ましい。今年は暇だし物憂い事も多い。夜桜の下、春宵一刻値千金と風情を愉しみ、一刻物憂き事を忘れてみよう。

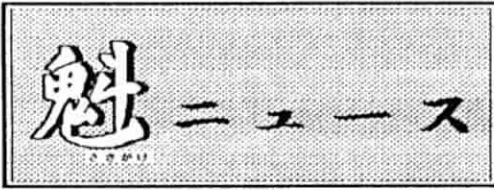
## ☆空パレットの返送方法についてお願い

ご了承のごとく、魁の搬送に使用しておりますパレットは空き次第ご返送いただくようお願いしておりますが、この返送に要する支払運賃は、容積（1パレット45才）で計算され、大変割高なものになっております。このパレットは空になりますとずらして重なり、複数のパレットでも1ヶのパレットとほとんど同じ容積になるのですが、これをそうしないで運送業者にお渡しいただきますと、2ヶのパレットで90才、3ヶのパレットなら135才と非常に高い運賃を当社が負担することになります。大体は重ねてご返送いただいておりますが、時折バラバラで返送してこられる場合があります。

御面倒ですが、今一度係の方にご確認いただき、返送方法について当社からのお願いにご協力を賜われますようよろしくお願い申し上げます。

## ☆4月の魁基準建値は300円/kgです

3月の電気銅建値は300円で終止しました。4月の電気銅建値も変わらず300円でスタートしました。従って4月の魁基準建値は $(300 + 300) \div 2 = 300$ 円です。この結果4月の魁価格帯は250円超～300円以下の欄になり1ランク下がります。この価格帯は1987年9月以来6年振りになります。お求めやすい価格になりましたので、精々おすすめ下さいますようお願い申し上げます。



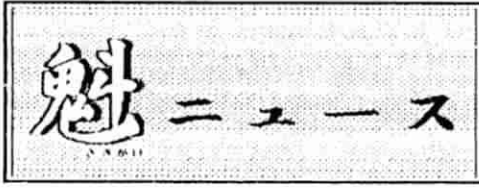
風薫る五月、自然の織りなす新緑の美しさに思わず感嘆の声が上がります。若葉の萌える新緑の色は光るような白っぽい緑、若緑、浅緑、黄緑、萌黄等さまざま、山々は光輝いて見えます。ゴールデンウィークの休日如何お過ごしになりましたか。近くて安くて楽しめるものが今年の特徴と言われていましたが、相憎の天候不順で計画が変ってしまった方も多かったと思います。幸いに後半はお天気も良くなり、人と車の行列があちこちで見られました。

さて先月は電気銅建値が3月末の300円から4月末の250円へと50円も下がり、急落を演じました。景気の低迷、需給の悪さを改めて認識せざるを得ません。このたびの資産デフレを伴った複合不況がはや2年以上続いています。内需不振のため輸出にドライブがかかり日本の貿易黒字は極めて高い水準にあり、海外から寄せられる円高圧力が強まって1ドル110円というラインを超えようとしています。日本の貿易黒字に貢献してきた産業も海外へ生産拠点を移し始め、部品産業も又同様の動きが盛んになってきました。日本の産業の空洞化は固定費の高くなった企業のリストラ推進と相俟って中高年を中心とした余剰労働力の失業者化を早めていくでしょう。消費や設備投資に景気を押し上げる力が期待できない構造になってきた日本経済に今期待されるのは政府による財政投融资ですが、これだけで景気を押し上げるには力不足で過大な期待は出来ません。力不足であるが、現在の処、景気をこれ以上悪くさせないためには、この財政投融资を来年以降も続けなければならなくなっており、又効果をあげるためには官庁の縄張り争いで非効率な投資がなされることのないよう政府の強力なリーダーシップが必要なのですが、それが又期待できない所が日本の弱い所であります。

私達は今や過去の経験だけでは判断できない新しい時代に入ったと思います。右肩上がりがあるように考え、経営上の判断もその延長線上にありましたが、これからは時代の変化に適合した経営にのみ成長の成果があつて、変化に適応できない企業は取り残されていくことが必至と考えられます。話は後戻りしますが、現在の電気銅建値250円は1985年の円高ショック(120円)以来の安値ですが、過去の経験からいえば確かに低い水準にあります。電気銅建値はこの辺が底値と考えていいか。1ドル360円時代の銅価換算をすれば700円を超える価格になるのだが、貴方はこれをどう考えられますか。

### ☆ 5月の魁基準建値は261円/kgです

4月の電気銅建値は1～5日は300円、6～8日は290円、9～15日は280円、16～20日270円、21～30日は250円で推移し、平均銅価は272円85銭でした。5月の電気銅建値は250円で始まりました。従って5月の魁基準建値は、 $(272.85 + 250) \div 2 = 261$ 円42銭となり円未満切捨て261円となります。魁価格帯は250円超～300円以下の欄で先月と同じであります。



早苗田に水が満々にはられ、青空や白い雲が映る風景を薫風を受けながら眺めていると肩のこりがほぐれ心の底からほっとします。今年は藤の花がどこも見事で山々の新緑の中に沢山みることが出来ました。奈良の春日大社は沢山の鹿を保護していることで有名ですが、又一方広大な神苑のあちこちに咲く藤も素晴らしく今年は10年に1度あるかなといわれるほど見事な咲き振りでした。藤棚にした藤よりは自然の大樹にまきつくように大きくなった藤の花の咲く様は、スケールが大きく自然が造化する美のすごさを感じずにはおれませんでした。

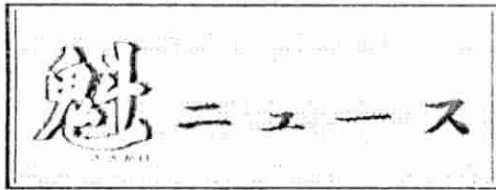
アメリカの日本への経済面に関する干渉や要求は益々激しく厳しいものになってきました。為替も110円を割りその影響が懸念されます。銅価も為替の影響を受け6月1日240円で発表されました。一方関税交渉が始まっており、現在銅の場合 トン当り15,000円の暫定関税が適用されていますが、これが引下げの方向で話し合われており、下がった場合その分がそのまま建値引下げに影響します。政府や民間経済研究所は昨年10～12月或いは本年の1～3月で景気は底打ちしたと発表しておりますが、私供にはいっこうに景気回復の足音は聞こえてきません。寧ろ、生産力の海外移転や人員整理、倒産の増加など悪材料ばかり沢山聞こえてきます。ここが辛抱のしどころというものでしょうか。大阪では建築金物の商社で大型倒産が発生しました。影響する範囲はかなり広いと思えます。60%カット40%を10年分割返済の和議を申請していますがもし認められるとしたらこれ以上のリストラはないといえるほど身軽になりますが、そんなやり方が流行したら真面目にしているものはたまりません。成り行きを注目したいと思います。

まもなく梅雨入りです。お天気までじめじめしてきます。みなさん健康にご留意下さりご奮闘下さいますようお願い申し上げます。

## ☆ 6月の魁基準建値は245円/kgです

5月の電気銅建値は250円で終始しました。6月の電気銅建値は10円下がり240円でスタートしました。従って6月の魁基準値は $(250 + 240) \div 2 = 245$ 円となります。魁価格帯は250円以下の欄となります。この価格帯は昭和61年12月以来7年ぶりです。





「あちさみの かくまで藍を深めしよ」 安住 敦

梅雨の真最中です。戦後最長のトンネル、そのトンネルも上からポトポト雫の落ちてくる峠の古いトンネルです。そこを傘をさしてとぼとぼ歩いているような姿を連想します。とても先の明るさが見えてきません。円高と政局不安が景況感を一層悪くしております。政・官・民の癒着構造や行政の過剰な規制等、メスを入れ治すべきところは治してもらおう、今迄の延長線上を進のではなく税金をとる側のリストラ、いわゆる行政改革にも真剣に取り組んで貰わねばならない所にきていると言えましょう。

ともすれば私の一票で世のなか変わりっこないからということも多くの方が選挙には無関心で棄権する人が多かったのですが、このたびの7月18日の選挙は相当投票率も高まりそうです。くしくもわが商品名と同じ政党グループも発足しましたが、日本新党やさきがけや新生党と非自民を名乗る政党がどれだけ議席を確保するのか注目されます。よどんだ水かめをかきまわすと底から汚泥がまきあがり腐敗臭が鼻をつきますが、そこへきれいな水を入れていくことを続けていけばやがて水かめの底も見えてくるように水が澄んできます。今の日本はそんなことが必要な状態になっているといえるのではないのでしょうか。そのためにも、たかが一票の私たちの投票ですが7月18日は私たちの政治への希望を主張する唯一の機会だと思います。

## ☆ 創立 35 周年記念謝恩セール開始

当社はお陰様で本年創立35周年を迎えました。之も偏に皆様より永年にわたり賜わりました深いご愛顧によるものと心よりありがたく感謝申し上げます。

この機に、ささやかですが皆様のご商戦に組み入れていただきたく、メーカーのご協力を仰ぎ5%引きの還元セールを企画いたしました。

対象商品は 魁さきがけ、段葺 魁12、カラーステンレスコイル、  
銅とい、銅とい付属品 です。

期間は 7月1日から10月31日迄の4ヵ月間

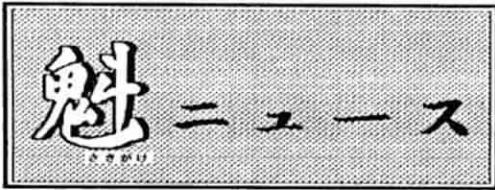
期間中の対象商品お買上金額合計の5%を期間終了後、当社より売上値引伝票を発行させていただきます。不景気とはいえ7月から10月にかけては多少なりとも需要の出でくる季節だと思いますので、皆様の積極的なご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## ☆ 魁の梱包仕様が変わります。

発売開始以来、魁はベニア板を使用して梱包してまいりました。しかしご高承の如く、地球の環境保全の一環として森林資源の濫伐を規制する動きが高まり、木材価格が騰り特にベニア材として輸入されてきた南洋材の値上りがベニア板の大幅な値上りをもたらしました。年々梱包資材費も値上りしてきておりましたが最早これ以上は吸収できずベニア板の使用を断念せざるを得なくなりました。今後は逐次ダンボールケースに転換していきます。サイズにより転換の時期は異なりますが、一部のサイズは既にダンボールケースに切り換わっております。尚ダンボールケースの場合人数は全サイズ共10枚入りになっております。従ってご発注の際ケース単位でなく10枚の倍数の枚単位でお申し付け下さいますようお願い申し上げます。

## ☆ 7月の魁基準建値は246円/kgです。

6月の電気銅建値は1～20日240円、21～30日250円で推移し平均銅価は243円64銭でした。7月の電気銅建値は250円でスタートしました。従って7月の魁基準値は $(243.64 + 250) \div 2 = 246$ 円82銭となり円未満切り捨て246円です。魁価格帯は250円以下となり先月同様最安の価格帯です。



ようやく梅雨明け宣言が出ましたが、今年は記録的な長梅雨でしかも平年の約2倍の総雨量を記録した地方が多く、近畿地方でも57日と約40年振りの長梅雨、降雨量も平年の70%増でした。これだけ雨が多いと被害が色んなところに出てきますが、極地集中豪雨が少なかったせい、アメリカ4州を巻き込んだミシシッピ河の氾濫のような大被害がなかったことは幸いでした。ところが一向に夏らしくならないのでクーラーや夏物衣料の売行が思わしくなく、経済面では今後尾を引く悪影響が相当な範囲に及んでくると考えられます。

このたびの衆議院選挙はどの政党も異口同音に政治改革を唱える選挙でしたが、自民党一党独占体制が終焉をつけ、小党連立の新政府が生まれようとしています。選挙制度改革行政規制の緩和、地方自治への権限委譲、直間比率の見直しを中心とした税制改革など取り組むべき課題が標榜されています。これらの課題を現状と将来の日本のあるべき姿をふまえて改革していくことは大変な作業であり我々は拙速を求めるとはなく気長に見守る姿勢が必要だと思います。今月召集される特別国会を機に自民党が野党になることはほぼ確定したといえましょう。しかしこれも必然性があってのことではないでしょうか。野党が与党になり与党が野党になることは決して異なることではなく、むしろ自然なのではないでしょうか。

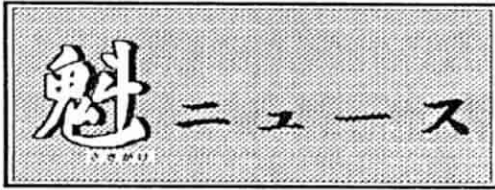
「吉凶はあざなえる縄のごとし」とか「塞翁が馬」という諺があります。縄の目は今表に見えているのが裏にまわって隠れそしてまた表にまわって見えてきます。「塞翁が馬」は中国の古典からの出語で、国境の砦に住み術を良くする老人の飼っていた馬が隣国の地に逃げたが、数ヵ月たつと駿馬をつれて帰ってきたので人々は大いに喜んだ。そして沢山の良馬に恵まれたが老人の子が落馬してびっこになってしまい人々は哀れんだ。ところが隣国から大軍が押し寄せ砦を襲い健康なものは十人中九人までが戦死したのに、びっこだったおかげでその子は助かった。福が禍となり禍が福となるたとえです。何がよいことなのか何が悪いことなのかきめつけられないしまたその程度も測ることはできないと教えています。

さてこれから政治がどんなふうに変わっていくのか、今ひとつ見えてきませんがいいことばかり期待してもいけないし又悪いことばかり続くものでもないことを銘記しておけば、喜怒哀楽を超えて政治の動きを見守ることが出来ましょう。与党の皆さん、野党の皆さん、私たちのため日本のため頑張ってください。心から声援を送ります。

最後に、短い夏と言われていますが皆様のご健康をお祈り申し上げ暑中お見舞いにかえさせていただきます。

☆ 8月の魁基準建値は251円/kgです。

7月の電気銅建値は1～8日250円、9～15日260円、16～31日250円で平均銅価は252円27銭でした。8月の電気銅建値は250円で始まりましたので魁基準建値は $(252円27銭 + 250円) \div 2 = 251円13銭$ となり円未満切り捨て251円となりました。従って魁基準建値は250円超～300円未満のランクとなり1ランク上がることとなります。



蟬の鳴き声が心なしか寂しく感じられるような短い夏がすぎ、朝夕は涼しい爽やかな時候になりました。今年の夏は過去に覚えがないほどの冷夏で度を越した異常気象でした。なんでも昭和29年以来39年振りという冷夏であったそうです。平年ですと梅雨が約50日熱暑が40日位のものが、梅雨が80日夏らしき日が8月下旬の10日間程という感じで、夏物商品は全滅、農作物にも大きな被害が出ているようです。景気への影響も状況が良くない時だけに深刻で、この爪痕は来年まで尾を引きましょう。

9月1日は立春から数えて210日目、この頃は丁度中稲の開化期で台風襲来の時期にあたるので農家では厄日として昔から警戒をしてきたものです。又、丁度70年前の大正12年9月1日に関東大震災があったこともあり、9月1日は防災の日と定められ各地で防災訓練が行なわれますが、今年は震災、津波、台風による集中豪雨等、誠に災害の多い年まわりです。尊い人命が失われたり、国土が破壊されることは大きな損失ですからもうこれ以上の災害の起こらぬよう祈るばかりです。

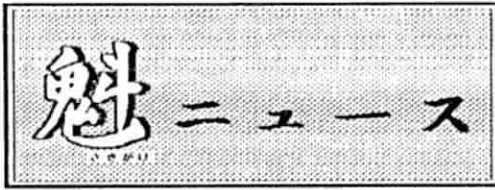
景気のことについてはいまさらに語ることもありませんが、関西では大企業だけでなく中堅中小企業まで海外への転出が怒濤のごとく動きだしました。産業の空洞化が以前から懸念されていましたが、家電メーカーとその関連下請企業の多い関西は、今や大変深刻な状況になってきました。不況は一段と進み底割れしたとしか思えません。政府の景気対策は全ったく頼りとするにあらず、自らの努力にしか生き残り策はないと思わねばなりません。皆さんのご健闘を祈るばかりです。

## ☆段葺きルーフ サキガケ12について

ジョイント・カバーレス工法のサキガケ12は銅板、ステンレス、アルミ等の材料のみを対象に受注販売してまいりましたが、スチールも受注するようにとのご要望を数多く賜り、9月1日よりスチールを素材としたものも受注生産することにいたしました。営業の皆様にもお伝え下さいますよう、又ご用命のほどよろしくお願い申し上げます。

## ☆9月の魁基準建値は248円/kgです。

8月の電気銅建値は2～14日250円、16～25日240円、26～31日250円で推移し平均銅価は246円36銭でした。9月の電気銅建値は250円でスタートしましたので、魁基準建値は $(246.36 + 250) \div 2 = 248$ 円18銭となり円未満切り捨て248円となります。従って魁の価格帯は250円以下の欄となり、8月の価格帯250円超～300円以下の欄より1ランク下がります。



景気の底割れを象徴するかのようになり、電気銅建値は220円の価格をつけた。61年（1986年）に240円になったことがあるが、それを下回る安値である。過去の価格を辿ってみると昭和25年（1950年）までさかのぼらないとない。1950年のCOMEX（ニューヨークにある商品取引所）の銅相場は、21.82セント/ポンド（1ポンドは0.453kg）であり、現在は75セント近辺であるから3倍以上になっているが、円とドルの為替レートが360円から105円近辺になっているからこういうことになる。非鉄金属は為替レートの変動が直接国内価格に反映するシステムになっているため円の値打ちがいかに上がったか良く判るが、他のものではどうだろうか。円の購買力平価は1ドル200円位といわれるが、私達の生活実感では円高のおかげで生活が豊かになった実感はない。1ドル200円の生活コストを持った労働力で作った商品を、1ドル100円の世界で商いをしていくことは大変不利なことである。原材料は1ドル100円のレートで仕入れることが可能であっても、労働力やエネルギーや設備の償却など1ドル200円のレートのもので沢山あるのだから当然である。そこで安い労働力を求めて海外移転する企業が増え産業の空洞化が進む。日本の輸出は海外からも非難を寄せられているが、輸出価格が国内向け価格より大幅に安いものが数多くある。輸出価格は国際市場価格の枠の中で頭が押さえられるが、生産性を高めコストを下げるためには採算が悪くても欲しいもので、やめるわけにいかない。採算の悪い部分は国内価格でカバーすることで、収益を確保する。設備資金に巨額を要する装置産業にこの傾向は強い。国内の需要が伸びている時は、このしくちで業績を伸ばすことが出来たが、空洞化が進み経済の成長が止まってしまった今日ではこの図式は成立しない。一時的には企業の自衛手段として国内価格をあげ、赤字回避しようとする動きが出てくるだろうが、国際価格との乖離が進めば、海外からの輸入が増えるであろうし、海外移転も更に促進され空洞化が強まるという悪循環になる。

私達が1ドル100円の価格を生活で実感できるようになるには、もっともっと物価が下がらないことにはどうにもならない。そのために今、行政規制の撤廃が指摘されているが、規制のお陰で恩恵を受けている人は反対するから遅々として進まないだろう。改革が既得権を持つ人の反対に合うのは当然のことで、断固推進し物価の下落をはかって欲しいものである。物価上昇→賃金上昇→コスト上昇のスパイラルを物価下落→賃金安定→コストダウンの好循環に変え、産業の空洞化の流れを止めるようにしなければ日本の経済ひいては私達の暮らしむきは悪い方向に進んでいきそうに思えてならない。

夏の異常気象の影響を受けて米作は戦後最悪の凶作という。田舎からの便りでは柿が不作らしい。実がつかなかったようだ。良かったものが何かないだろうか。松茸はどんなだろうか。もともと少なくなってしまうからやはり高嶺の花だろう。まして今の懐具合では手が出ない。精々栗ご飯位で季節の味を味わうしかなかなかろう。いやはや少々ものさみしい秋である。

☆創立35周年謝恩セール今月一杯で終了。

魁やカラスステンレスを対象商品とした5%還元セールは今月で終了いたします。折角の機会をお見逃しなくご活用下さいますようお願い申し上げます。

☆10月の魁基準建値は231円/kgです。

9月の電気銅建値は1～16日250円、17～23日240円、24～30日230円で推移し平均銅価は243円でした。10月の電気銅建値は220円で始まりしました。従って10月の基準建値は $(243 + 220) \div 2 = 231$ 円50銭となり円未満切り捨て231円となります。価格帯は250円以下の欄となり、前月同様変わりません。

# 魁 ニュース

建設業界史上最大の倒産が発生しました。奈良県に本社を置く村本建設です。全国に事業所を置くゼネコンだけに下請け企業や発注主等も多く、その影響の度合いは測り知れぬ規模になる恐れがあります。お取引先に影響が及ぶ可能性もあり、充分注意を払う必要がありますが、それにしても物騒な世情になってきたものです。来年になれば底をうつとも言われていますが、政府やエコノミストの話もこう度々はずれてくると「狼と少年」の話のようなもので、「本当にしませんよ」と言いたくなります。政府の景気対策を当てにして景気回復を耐えて待つ姿勢では「待ちぼうけ」を喰わされるだけでしょう。自分の城を守るには、今以上に景気が良くなることを期待せず打つべき手を打っていくということではないでしょうか。

☆ 11月の魁基準建値は220円/kgです。

10月の電気銅建値は220円で終始しました。11月も220円で始まりました。従って11月の基準建値は220円となります。価格帯は先月同様250円以下の欄で変わりありません。

## ☆褒めて育てよ

言っちゃ悪いが母親には子供に対してけなすのがうまく褒めるのが苦手な人が多いのではないのでしょうか。寅さんではないけど、「それを言っちゃ、おしまいよ」と言うような言葉を子供を良い子にと思ふ心ひと筋であろうが、一度でなく繰り返す。人育ての上ではけなすより褒める方が絶対良い。例えば愚図な子には慎重な子という具合に、子供の可能性を信じる心を持たなければ言葉褒め言葉に変えられます。

あきっぱいね……………決断力があるね  
おしゃべりだね……………表現力が豊かだね  
好き嫌いが激しいね…選択力があるね  
不良っぱいね……………何かにつけて進歩的だね  
乱暴な子だね……………行動にメリハリがある子だね  
怒りっぱいね……………正義感が強いんだね  
臆病だね……………用心深いね  
だらしが無いね……………こせこせしない大物だね

以上のように子供の才能を伸ばすのも埋没させるのも母親の言葉の影響が大きいと言えます。このことは会社に於いても同じであろうと思います。

## ☆創立35周年謝恩セール終了

7月1日より10月30日まで“創立35周年謝恩セール”を実施いたしましたところ、みなさまの絶大なるご協力をいただき、お陰様で所期の目的を達成することができました。心より厚くお礼を申し上げます。お戻りする売上値引金額につきましては、現在集計中でございますので、出来次第ご連絡申し上げます。今後ともよろしくご高配賜わりますようお願い申し上げます。





今年もはや師走に入りました。今年は大災害の多い年でした。普賢岳は昨年からの火砕流が止まず、奥尻島地震が多数の尊い命や財産を奪い、冷夏により米作は戦後最大の凶作になりました。海外でも米国やインド、中国などで大洪水が発生しました。私達は自然の恵みのなかで生かされていますが、自然は時折私達に警告を発するかのようになり、天災を齎らします。「忘れた頃にやってくる」と古くより言い伝えられてきましたが、忘れないうちに頻りに来られないよう祈るや切であります。

景気は益々深刻さを増してきました。来年が少しでも良い年になるよう祈っていますが現実は厳しいものでしょう。比較的順調で元気の良い東南アジアのマーケットに於いても日本は急速に競争力を失い欧米諸国に敗れております。ドルに対して円は15～20%上がりましたが、ヨーロッパ通貨に対しては50～60%上がっているのですから大変です。ステンレスや伸銅品がまったく売れなくなりました。全部ヨーロッパ勢に持っていかれています。中国の新幹線もヨーロッパ勢に持っていかれそうだとされています。ゴルファーがたまたまツキもあって大幅なアンダーパーで優勝したため、実力とはかけ離れたロウハンディに改定されたのに似た話で、今の為替レートではもはや勝負にならなくなっております。このような状態はまさしく欧米が望んでいた状態で、彼らはいい形になってきたと内心喜んでいるでしょう。早くハンディを元に戻して欲しいと言っても耳を貸してくれそうにありません。「腕をあげたら良いじゃないか」と言われるがオチでしょう。「そんなに簡単に腕が上がるんだったら苦労しません。もうこれ以上はとても無理です」と言ったところで「おまえらばかりいい目をするな」というところです。ですから之からは今までのような贅沢も控えて慎ましい生活に軌道を修正し、家族やご近所や友人との心の絆を大切に人生が砂漠化しないよう心の豊かさを大切にしたい生き方を求めていきましょう。

この1年大変ごひいきになりありがとうございました。皆様のご健祥を祈り、よき新年をお迎え下さいますようお願い申し上げます。

### ☆ 12月の魁基準建値は220円/kgです

11月の電気銅建値は1日～30日まで220円でした。12月も電気銅建値も220円でスタートしました。従って12月の魁基準建値は220円です。価格帯は250円以下で変わりありません。